

初の「ファミリーデー」開催

五十鈴グループでコイルセンター事業を展開するスチールサービス部門傘下の五十鈴関東、五十鈴中央、五十鈴東海の3社は2月23日、各サービスセンター（SC）で「ファミリーデー」を開催した。五十鈴の



五十鈴東海・浜松SCでは参加者全員で記念撮影

9拠点で家族168人が職場見学

「ビジョン実現委員会」が浜松鋼板加工の計9SC企画し、2025年度からで開催し、参加した大人と新たに始めた取り組み。3子どもたち全員に氏名入りの社の社員とその家族含めたの「五十鈴の名刺」を提供。計168人（関東42人、中皆が社員さんながらの気分を中央59人、東海67人）が参加味わった。

工場見学では、大型のレンプラリーも行われるなど、各所で趣向を凝らした。参加した家族からは「（お父さん、お母さんの）仕事内容がよく分かり、安心な職場だと感じた」との声が上がり、社員と家族の絆を強める貴重な機会となった。式の最後には各地域の銘菓がお土産として贈られ、アットホームな雰囲気の中で閉幕した。

関東（小山・太田）、中ベラーラインやスリッター、各所で趣向を凝らした。参加した家族からは「（お父さん、お母さんの）仕事内容がよく分かり、安心な職場だと感じた」との声が上がり、社員と家族の絆を強める貴重な機会となった。式の最後には各地域の銘菓がお土産として贈られ、アットホームな雰囲気の中で閉幕した。



五十鈴中央・青梅SCの工場を見学する家族ら①、五十鈴関東・太田SCではスタンプリューを開催



「（お父さん、お母さんの）仕事内容がよく分かり、安心な職場だと感じた」との声が上がり、社員と家族の絆を強める貴重な機会となった。式の最後には各地域の銘菓がお土産として贈られ、アットホームな雰囲気の中で閉幕した。

